

教訓
生かし

コロナ第6波 への備えを!



展望の丘「ブイロクの木」の前の区議団

気候危機・羽田新ルート・国保料 障害児教育など区民要求取り上げ奮闘

新型コロナウイルスの「オミクロン株」の感染が確認され、第6波の拡大が心配される中、第4回定例区議会が開かれました。区議団は、第5波の教訓を生かし、備えを強めることをはじめ、気候危機対応、羽田新ルート問題、国保料値下げ、障害児教育、公共施設再編など多様な区民要求を取り上げて奮闘しました。

新型コロナウイルス感染症第6波への対策を

第5波で重症者ゼロに抑えた墨田区の教訓などを踏まえ、病床や宿泊施設などの確保、保健所体制強化、自宅療養となった時の重症化予防、PCR検査拡充について区の姿勢を質しました。区は、200床の病床確保を目指し、保健所体制の拡充、医師会との協力で重症化予防対策を強化しているとしました。

高齢者施設等への独自の巡回検査を行った20年度、江戸川区の人口10万人当たり感染者は23区で1・2位の少なさでした。21年度は独自の検査も実施されず、第4波・5波の拡大で、感染者は18位になっています。ワクチン接種とPCR検査の拡充が求められます。

区独自の経済支援と年末年始の相談窓口を

緊急小口資金利用者などへの区独自の給付金の支援と、年末年始の相談窓口の開設を求めました。区は独自の経済支援は「財政状況を見ながら総合的にやっている」とし、実施は

明言しませんでした。年末年始の相談窓口は「相談に対応できる体制をとる」と答え、専用電話を設置しました。

専用電話▼03(5662)8169

3回目のワクチンと子どもたちへのワクチン接種

昨年12月から医療従事者の接種が行われています。65歳以上の区民と基礎疾患がある方は2回の接種を終えて8か月を経過した方に順次1月中旬から、集団接種した方は同じ場所、日時指定の接種券が送付され2月から実施します。(都合の悪い

方のみコールセンターに連絡)。個別接種した方は要予約。また65歳以下の区民にも順次送付されます。第4回定例会で、5歳から11歳の子どもへのワクチン接種の補正予算が決まりました。2月から個別接種を基本に実施されます。

小・中学校の 学校図書館司書

全校配置の検討進む

区の小・中学校の学校図書館における司書の配置は、現在、4年間のうち1年間だけです。配置された学校では図書館活動が大きく改善する一方、配置のない学校では充分な対応が来ず、学校間で教育格差が生じています。

23区で、江戸川区以外は小学校全校に配置しており、区議団は、すみやかな全校配置を繰り返し求めてきました。今議会では与党からも同様の質問が相次ぎ、教育長は「現在検討中。来年度を考えている」と答弁しました。



篠崎児童発達支援センターを 株式会社が運営!?

区の福祉施設として、初めて株式会社を指定管理者に。営利目的の企業に委ねることに反対しました。区は「プロポーザルで公平に選んだ」としましたが、23区でも福祉施設では他に例がありません。



現篠崎育成室

学校現場へ介助員161人増

発達障害など様々な課題を持つ子どもたちは、学校での集団生活がスムーズにできないことが少なくありません。子どもが少しずついた時に、児童に寄り添う支援、介助員の要望があります。区議団は人員確保を要望してきました。今議会の補正予算で161人の介助員増が決まりました。江戸川区では約400人の介助員配置になります。

特別障害者 手当増 要介護4、5の人にも 支給の可能性

月27,350円が支給される「特別障害者手当」。介護保険の要介護4、5で在宅の人も受給の可能性がります。所得制限や医師の診断など条件がありますが、ご相談ください。

共産党区議団 ☎ 03-5662-5113

区障害者福祉課自立援助係 ☎ 03-5662-0062

気候危機対応と 温室効果ガス削減について

英国グラスゴーでのCOP26(国連気候変動枠組条約第26回締約国会議)で、岸田文雄首相は、最もCO2を排出している石炭火力発電について一言も言及せず不名誉な「化石賞」を受賞しました。区の2030年までの温室効果ガス削減目標も、2013年度比で40%と、国の46%より低い状態です。積極的な目標の設定と過程の公開を求めました。区は、区内の環境NPO等も参加するエコタウン推進本部で検討するとなりました。他に、ローカルカーボンニュートラル、地域電力会社の設立、太陽光パネル設置助成など質問。23区中18区で実施しているパネル助成は、あくまで融資で対応すると答弁し否定しました。

国保料の値下げを 減免措置の拡充を

区の均等割は年5万5500円(他区は5万2000円)。コロナ禍が続く中、せめて他区なみへの値下げと来年度の国保料値上げはやめるべきと区長に質しました。また、国は4月から乳幼児の均等割を2分の1減免します。収入がない子どもの均等割減免を18歳まで拡充することを求めました。

区長は、国保制度を守るために負担は必要だとし、値上げにふれず、子どもの均等割軽減は区単独でやることではないと回答しました。

国民健康保険加入者は、年金生活や非正規の方など収入が少ない世帯が多く、減免制度をうけている世帯は47%。引き続き値下げを求めています。

羽田新ルートの中止を

●予定便数減少でも区内通過機数は約2・7倍に

区内の航空機通過は11月の一ヶ月だけを新ルート前と比較すると30倍。コロナ感染症の影響で運航が減っても、区内通過は増加しています。国会議員への政府答弁書に「新しい管制方式で航空機の飛行時間の短縮に一定の効果がある」と記載されています。増便のためという新ルートの必要性はなくなっており、従来の海上ルートに戻すよう国に働きかけることを求めました。



荒川沿い北に向かう航空機

区長は「区民の不安に関しては十分な説明や情報提供を行うよう求める。国交省は新管制方式で、羽田の滑走路の処理能力の増加はないとしている。元に戻すよう働きかける考えはない」と答弁。せめて減便中だけでも、騒音や落下物など環境に影響の少ない海上ルートに戻すよう国に求めるべきです。

特別支援教育の充実を

●特別支援学級(知的障害のある子)の増設を

今、小学校14校に学級があります。しかし、近くにないため25分かけて通学する1年生もいます。教育長はただちに増設の必要はないと答弁。空白地域をなくすために少なくとも3校の増設が必要です。

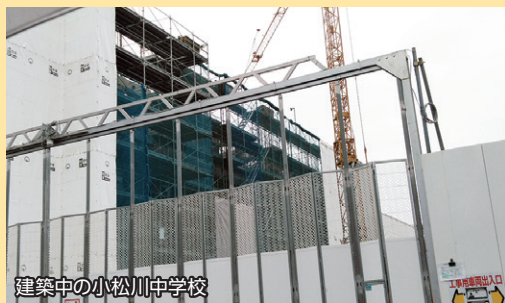
●特別支援教室(発達障害のある子)の充実を

先生が各学校をまわり、一人一人の課題に合わせた自立支援の指導が行われています。先生は子ども10人を担当し在籍は約1000人です。ところが、都は、先生を子ども12人に1人、指導期間も「原則一年、最長二年」としました。先生の削減撤回を都に求め、区独自の講師配置、入学時から支援につなげる5歳児検診を提案しました。

教育長は、先生の削減撤回は求めるが、区独自の講師配置も5歳児検診もしないと答弁。入学前から保護者と一緒に子どもの支援を考えることが必要です。

小松川・平井地区の 公共施設は住民参加で

小松川・平井地区には、旧平井二小(現在はワクチンコールセンター)、来年4月小松川の中学統合校が旧二中跡地に開校のため、小松川一中と三中の跡地が生まれます。これらの用地の活用のため、地元のワークショップや、地区内全世帯からのアンケート調査などを求めました。区は地元勉強会など立ち上げ検討するとしていました。



建築中の小松川中学校

改憲論議を求める 意見書に反対

自民党が「国会における憲法論議の推進と国民的議論の喚起を求める意見書」を提案。区議団は、国会の憲法審査会は改憲を前提としていること、総選挙後の調査でも改憲を求める世論は高まっていないことなどを指摘し、現憲法を守り生かす立場から反対しましたが、自民・公明などの賛成多数で可決されました。(反対は、共産・ネット・無所属の8区議)

日本共産党江戸川区議団

法 律 相 談

各区議事務所・区議団控室では
常時生活相談を受け付けています。
☎03-5662-5113(控室)

区議団ホームページに2019年度政務活動費の領収書を掲載しました。一部、数字がうすい領収書がありますが、今後改善していきます。



セバタ 勇 区議地域

●連絡先 ☎03-3637-4050
●場所/セバタ事務所
法律相談 ●2月17日(木)・3月17日(木)
受付:午後6時半~8時

FBは瀬端勇で検索を



大橋 みえ子 区議地域

●連絡先 ☎03-5674-3753
●場所/大橋事務所
法律相談 ●2月2日(水)・3月2日(水)
受付:午後6時半~8時

ブログは大橋みえ子 goo ブログで検索を



小俣 のり子 区議地域

●連絡先 ☎03-3655-4422
●場所/小俣事務所
法律相談 ●2月9日(水)・3月9日(水)
受付:午後6時半~8時

FBは小俣のり子で検索を



牧野 けんじ 区議地域

●連絡先 ☎03-5662-5113
●場所/牧野事務所
法律相談 ●1月25日(火)・2月18日(金)
受付:午後2時~4時

ツイッター@kenji_makino FBは牧野けんじで検索を